

2019. 2. 8 <計1枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

**市電の今昔写真と昭和 30 年代町並みパノラマ写真から京都の変遷をたどる
「今昔写真から見える京都の変遷～市電の音が聞こえる風景と現在～」開催**

立命館大学アート・リサーチセンター(以下、ARC)は、デジタルアーカイブされた京都市電の写真から京都の町並みの変遷をたどる展示会「今昔写真から見える京都の変遷～市電の音が聞こえる風景と現在～」を開催いたします。

ARC は、京都の近代化を支え、京都市民の足として愛された京都市電の写真を収集し、デジタルアーカイブしたデータベースを 2017 年 2 月に公開しました (http://www.dh-jac.net/db1/photodb/search_shiden.php)。公開当初は約 2,000 点のデータベースでしたが、活動の趣旨に賛同された方々より資料の寄託・寄贈をいただき、現在は約 5,000 点を超えるデータベースとなりました。

本展は、2017 年度～2018 年度にかけて収集し、新たにデジタルアーカイブされた京都市電写真や「昭和 30 年代京都町並みパノラマ写真」など約 150 点を厳選し、現在の町並みの様子も合わせて今昔写真を展示します。展示のほか、京都市電や町並みに関する思い出をポスターに記入できるブース設置や、来場者からの京都市電の写真提供受付、古写真の撮影場所に関する情報を聞き取る試みなども実施いたします。

また、研究メンバーによるデータベースの紹介、京都市電と町並みに関する解説や当時の思い出などを語るギャラリートークを 2 月 20 日に開催いたします。

記

【展示】※入場無料

期 間:2019 年 2 月 17 日(日)～2 月 25 日(月)

時 間:10:00～16:30 ※2 月 20 日(水)は 10:00～19:00

会 場:ひと・まち交流館京都 1 階 展示コーナー

【ギャラリートーク】※入場無料

日 時:2019 年 2 月 20 日(水)19:00～20:30

会 場:ひと・まち交流館京都 B1 階 ワークショップルーム

○ギャラリートーク解説者(予定)

井上 学(立命館大学衣笠研究機構 客員研究員)

中村 浩史氏(京都市電の廃線跡を探る著者、廃線ウォッチャー)

大菅 直氏(株式会社光影堂 代表取締役)

主 催:立命館大学アート・リサーチセンター、京都の鉄道・バスアーカイブ研究会、特定非営利活動法人京都景観フォーラム

後 援:京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和 TEL.075-813-8300 FAX.075-813-8147